

Konica Topics

液晶偏光板用TACフィルム新工場竣工

液晶ディスプレイ(LCD)の基幹材料である「液晶偏光板用TACフィルム」専用の新工場が3月に竣工いたしました。新工場は、当社の神戸事業場内に1998年11月より着工、約1年半の建設期間を経て竣工にいたりました。当社では、この新工場の稼働により、成長著しい液晶関連事業に参入し、新たな事業展開を図ります。LCDは、ノートパソコンをはじめ、各種モニター、携帯情報ツール、ゲーム機器、カーナビ、テレビなど幅広く利用されており、用途は今後もさらに増大、金額ベースで

は、世界市場規模は2000年で約2兆円を超えると予想されています。また、偏光板の保護用フィルムとして使用される「TACフィルム」は、その優れた光学特性、表面平滑性及び加工性により、今後も代替素材はないと考えられますので、本事業への本格参入を決定いたしました。

その結果、偏光板メーカー各社から品質面で高い評価をいただき供給量を徐々に伸ばしてまいりました。今後は神戸の専用工場の稼働に伴い、さらなる技術開発を進め、将来的にも有望な「液晶偏光板用TACフィルム」の事業を積極的に展開してまいります。



神戸事業場
TACフィルム新工場



植松社長とミノルタ株式会社太田社長

ミノルタと情報機器分野で業務提携に基本合意

当社はミノルタ株式会社と情報機器事業における技術協力を主眼とした開発及び一部の生産分野での提携と次世代トナー(インク粉)の製造を行う合弁事業を開始することに合意いたしました。

情報機器市場においてコニカはデジタル高速機と永年の写真材料事業で培われた合成技術を基盤とした材料分野で、また、ミノルタはデジタルカラーにおける画像処理技術とプリンタを中心とする分野でそれぞれ競

争力のある製品・技術を持っています。近年の急速なデジタル化の進展に対応し、両社は技術協力により商品開発のスピードを早め、複写機・プリンタの基幹部分を今後共有化する方向で進める予定です。さらに、コニカが開発した「重合トナー」を共同で実用化レベルまで高め、高画質化かつ価格競争力のある消耗品として市場に供給していくことも視野に入れ、合弁で生産を開始する方針です。これらの施策により、従来にない魅力的な製品群をお客様に提供し、結果として両社の売り上げが拡大することを提携の狙いとしています。



コニカHEXAR RFが「カメラグランプリ2000・カメラ記者クラブ特別賞」を受賞

昨年12月に発売して以来、市場よりご好評をいただいている「コニカHEXAR RF」が「カメラグランプリ2000・カメラ記者クラブ特別賞」を受賞いたしました。

カメラ記者クラブより選定理由として、カメラは全自动で写真が撮れるものだという認識が常識となっている時代に、撮影者自身がカメラの各部を操作し、さまざまな要素を手触りで確認できる35mmマニュアルフォーカス式レンジファインダーの高級機を開発発表した企画力に注目。一方、絞り優先式TTL AEと自動巻き上げを採用し、4000分の1秒のシャッタースピードを取り入れるなど、趣味性の高さと使い勝手の良さを両立、単に懐古的ではない完成度の高いカメラを実現させたことに対する賛辞をいただきました。

「平成11年度エネルギー管理優良工場表彰(資源エネルギー庁長官賞)」を受賞

コニカの小田原事業場が「平成11年度エネルギー管理優良工場表彰(資源エネルギー庁長官賞)」を受賞いたしました。今回の受賞では、常日頃実施しているエネルギー使用効率の極限追求、自然エネルギーの有効利用、全員参加の地道な省エネ活動が評価されました。コニカの小田原事業場は、今までにも継続的で創意工夫に満ちた省エネ活動が評価され、「平成11年度地球温暖化防止活動大臣表彰」をはじめ数々の省エネ関連の表彰を受けています。

コニカでは、小田原事業場に限らず、斬新なアイデアと革新的な省エネ技術の導入により、地球環境への配慮とコストダウンを両立しつつ環境保全を推進してまいります。